



受動喫煙防止はどのように進展させるのか － 2018年世界禁煙デー記念イベント開催－

5月31日（木）、日本医師会館大講堂（東京都文京区）において、2018年世界禁煙デー記念イベント「受動喫煙防止はどのように進展させるのか」が開催され、274名の参加があった。

冒頭に小池百合子東京都知事が来賓挨拶を行った。小池都知事は、受動喫煙対策を強化する都独自の条例案を都議会に提出することを踏まえ、「『人』に着目した都独自の新しいルールを設けることで、働く人や子どもを受動喫煙から守ることが対策の柱である」と述べ、加えて国としての対策が進展していくことへの期待が述べられた。挨拶の最後に、禁煙啓発キャラクター「すわん君」とのお礼のハグが行われ、会場は盛大な歓声に包まれた。

第1部の講演では、日本対がん協会の望月友美子参事と岐阜県立総合医療センター循環器内科の飯田真美主任部長より、受動喫煙のない世界への提言がそれぞれの立場から述べられた。続く第2部では、松沢成文

参議院議員と尾崎治夫東京都医師会長より、国の受動喫煙防止対策の現状や医療の面からの対策と活動状況についての特別発言が行われた。

最後に、たばこと健康問題NGO協議会の森亨会長より閉会の挨拶があり、イベントは盛会裏に終了した。昨年以上に多数ご参加いただき、2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて受動喫煙防止対策への関心の高まりが感じられた。🐾（普及広報課）



小池都知事とすわん君のハグ